

新学期を前に子どもたちの通学路など

新冠建設協会ボランティア清掃



4月4日、新冠建設協会に加盟する町内の建設業者19社が参加し、ボランティア清掃が行われました。この清掃活動は、毎年春に行われているもので、参加した85名の会員は、市街地や節婦地区、山間部の一部の地区に分かれ、道路脇に溜った砂の除去や排水溝周りの枯草の除去、路肩に捨てられたゴミの清掃作業などを行いました。

新冠温泉、ホテルヒルズ

リニューアルオープン！

3月31日、町と北海道ホテル&リゾートは、新冠温泉レ・コードの湯で、同温泉の管理に関する基本協定書を取り交わしました。

新冠温泉レ・コードの湯、ホテルヒルズは、老朽化した温泉施設・機械設備の改修工事が完了し、北海道ホテル&リゾートの運営の下、4月1日、リニューアルオープンしました。

同社が力を注いでいるのがファミリ層の誘客で、キッズコーナーの新設のほか、宿泊客におむつやミルクを無償提供するなど、家族連れへのアピールを強化しました。

地域への感謝の気持ちを込めて

日高信金クリーンアップデー



4月9日、日高信用金庫静内支店と浦河本店の職員8名が、新冠温泉レ・コードの湯の周辺と道路沿いの清掃活動を行いました。昨年、創立100年の節目の年を迎えた同金庫は、100周年の年度を終えた感謝の気持ちと今後地域への持続的発展に貢献するため、全8店舗の職員が、各地域の環境美化に貢献する清掃活動を実施しました。

みんなで守ろう交通ルール

春の交通安全運動 人の波作戦



4月6日、今年も春の交通安全運動に合わせ、レ・コード館前で交通安全街頭啓発運動の「人の波作戦」が行われました。

この日は、交通安全推進委員会が中心となり、老人クラブや商工会、ライオンズクラブ、建設協会関係者などに参加を呼びかけ実施されたもので、約180名がドライバーに交通事故の根絶を訴えました。

待ちわびたオープン

愛好者らが集まり久々のプレーを楽しむ



4月15日、西泊津ヒルズパーク・パークゴルフ場の今年度の営業がスタートしました。

午前9時に新冠町パークゴルフ協会（青山忠雄会長）の会員などが集まりオープンングセレモニーが開かれ、その後、会員らはチームを組んで、久しぶりのコースでのスイングを楽しみました。

新冠町商工会女性部と青年部

未来を担う子どもたちのために



4月21日、新冠町商工会女性部と青年部の皆さんのご協力により、今年も認定こども園ド・レ・ミの敷地に約60本の鯉のぼりが設置されました。

この活動は、平成19年から実施しており、「子どもたちが元気に、たくましく育ってほしい」と願いを込め、毎年行われているもので、この日も仕事が終わった後、鯉のぼりをあげていただきました。

ま ち の 話 題

あ れ こ れ

地域おこし協力隊辞令交付

地域活性化のため

4月1日、地域おこし協力隊員（農業支援員）として新たに着任した石垣大地さん（写真右から2人目）が、鳴海町長から委嘱状の交付を受けました。

石垣さんは、奥さん（写真右）とともに、町内の受入農家で農作業に従事し、担い手・労働力不足の解消にご尽力いただきます。

一方でご自身も営農技術を習得し、3年後にはピーマン農家として、新規就農を目指します。



地域おこし協力隊員は、今年で活動最終年を迎える渡邊支援員（写真左）と小野塚支援員（写真左から2人目）、荒牧支援員（当日欠席）の3名と合わせて総勢4名体制となりました。

新冠町身障者福祉協会通常総会

役員改選 新会長に百海秀一氏



4月14日、本町多目的交流センターで、『身障者福祉協会通常総会』が開かれました。

同協会は、59名の会員で構成され、相互の親睦を深めながら、障がい者の自立と福祉向上を目指し各種スポーツ事業などを行っており、今回の総会では役員改選が行われ、新会長に百海秀一氏が就任しました。

ライオンズクラブ奉仕を重ねて50年

結成50周年記念式典



4月26日、新冠温泉レ・コードの湯で、「新冠ライオンズクラブ結成50周年記念式典」が開かれ、関係者ら約40名が出席し、半世紀の節目を祝いました。

式典では、当クラブの橋本正美会長が式辞で「この栄えある伝統の奥には地元関係団体の皆さまと今日までご尽力いただいた諸先輩の皆さまのおかげです。」とお礼の言葉を述べられました。

佐川急便との災害時連携協定

支援物資の受入及び配送など



4月27日、役場会議室で、町と佐川急便株式会社（青木淳一北海道支店長）が「災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定」を結びました。

この協定締結により、町内で大規模な災害が発生した場合に被災者に飲料や生活必需品などを供給することができ、被災者の生活の安定を図られることとなりました。